

景気動向指数

さまざまな景気に関係のある指標を集めたもの。

内閣府 経済財政政策ホームページ 経済社会総合研究所（統計・SNA）

景気動向指数を見るポイント

過去の景気循環を決定する景気基準日付を決める際の重要な指標

先行系列（景気に先行）、一致系列（景気と同時）、遅行系列（景気に遅れる）の3種類がある。重要なのは一致系列。先行きを判断するために先行系列も参考にする。

景気縮小期で50以下で推移していた指数が50を超えると、景気が下り坂からのぼり坂になったことを示す。

景気拡大期で50以上で推移していた指数が50を切ると、景気が上り坂から下り坂に入ったことを示す。

景気動向指数の作成法

景気動向指数構成項目 過去の動きから、系列が選ばれる。

景気動向指数のメニューから

個別系列の数値：（先行系列 一致系列 遅行系列 = Excel形式）

最新の数字を3ヵ月前と比べる。（C4 稼働率指数、C9 営業利益に注意、C10-1、C10-2などは除く。計算する場合は、削除する必要あり）

3ヵ月前より改善 = 1

3ヵ月前と同じ = 0.5

3ヵ月前より悪化 = 0

$DI = \text{改善した指標数} / \text{採用指標数} \times 100 (\%)$

(参考) 数式で表せば以下の操作でできる。

IF 関数 条件によって違う処理をする

IF (論理式、論理式が真の場合の処理、論理式が偽の場合の処理)

=IF(当期のデータ>3 ヶ月前のデータ,1,IF(当期のデータ=3 ヶ月前のデータ,0.5,0))

当期のデータが 3 ヶ月前のデータより大きければ 1 を、等しければ 0.5 を、そのほかの場合はゼロを入れる、という関数。

グラフの作成

内閣府 経済財政政策ホームページ 経済社会総合研究所 (統計・SNA)

(長期系列 = Excel 形式)を選ぶ。

1990 と 1 を一つにして、1990/1 とする。

年の列と月の列を一つにする。 = セル & "/" & セル

目盛の最大値を 100 にする

補助目盛間隔を 50 にする。

